

おおづ

6

JUNE.2023



今月のみどころ

- P2 大津つつじ祭～4年ぶりに盛大に開催～
- P3 バイクで盛り上がる大津町～全国の猛者やライダー大集結～
- P5 令和5年度行政区囃子員をご紹介します
- P10 放課後の児童を支援する「放課後児童支援員」を募集します

今月の表紙

大津つつじ祭が4年ぶりに開催されました。表紙は歩行者天国となった旧道で行われたパレード中の1コマです。元気な声で神輿を担ぐ園児たち(詳しくは2ページ)。

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2023 6

発行・編集 ■大津町・総合政策課
〒869-1292 熊本市菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

印刷 ■ホーテ印刷株式会社
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物性インクを使用しています。

UD FONT
見やすくて読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



◀四半的弓道の団体は5人で1チーム。手のひらサイズの的に向かって1人ずつ計30本の矢を射る。座り方は自由。

clozu-up
Ozu-jin

※大津町四半的弓道協会の活動は毎週木曜日の午後1時から大津地区公民館分館で行っています(変更する場合あり)。



老いても心身ともに
健康でいるために

なかむら せい き
中村 征紀さん(引水)

大津町四半的弓道協会に所属し、会長を務める中村征紀さん。四半的弓道を始めて20年の中村さんにこのスポーツの魅力を聞く！

四半的弓道は、宮崎県日南市飲肥付附近に450年余り前から伝わる弓術。弓道と違うのは、的までの距離が4間半(8m20cm)、弓と矢の長さが4尺5寸(約1m60cm)、4寸5分(約13cm)の的に当たった矢の数で競う。全ての長さが「4・5」なので四半的と呼ばれているのだという。

中村さんが四半的弓道に出会ったのは60歳の時。テレビで四半的弓道の特集があり、高齢者の人たちが楽しそうに弓を引いている姿を見て、私もやってみたくて思ったのがきっかけでした」ときっかけはテレビだった。

就職で一度は大津町を出た中村さんだが、定年退職をきっかけに熊本に戻ってきた。熊本に住む弟に四半的弓道の話をするると大津町でもできることを知り、旧室公民館で行っていた練習に初めて参加する。「見るだけで終わるつもりだったので、一回打ってみたらね」と先輩たちから誘われ、人生で初めて弓を引きました。最初は弓の振動を抑えられず的を狙うのが難しかったのですが、的に当たった時の感触と爽快感のある音は今でも忘れられません」と目を細める中村さん。

大津町で四半的弓道を残し続ける大津町四半的弓道協会の皆さん。「四半的弓道は子どもから高齢者まで、誰でも始めやすいスポーツです。今後、大津町で仲間が増えてくれるとうれしいですね」と競技者が増えることを一番に願う中村さん。

ついでの声

広報担当になって初めて参加したつつじ祭。歩行者天国では護国小学校の児童による武者行列や町内の保育園・幼稚園の園児たちの行進などが行われ、見ているとわくわくが止まらず、写真を撮るのに夢中でした。4年ぶりの祭は多くの人たちで賑わい、笑顔が満開の祭となりました。来年はどんな花が咲くのか楽しみですね▼四半的弓道取材し、私も射る体験をさせていただいたのですが、的に当たったときの感動は忘れられません。何かを始めてみたいと思ってる人は一度体験してみてくださいはいかがでしょう(5)



広報が読める
スマホアプリ

